No.	相手方	審議会資料2(修正前の影響	素案)の		意見・感想等	目の老さ士 (安)	
		章	頁	行			
1	杉田委員	3 県土を取り巻く経済社会情勢の変化と 県土利用の課題 (1)全計画期間内における主な土地利用の 動向	3	12	「総人口は減少局面に入っており、その増加幅は減衰している」、これは減少しているのか増加しているのか読んでいてよくわからないので、正確な表現が必要かと思う。	【修正前】 都市的な土地利用のうち、宅地面積は、人口・世帯数の増加が続いていたため、増加傾向となっているが、本県の総人口は令和3年から減少局面に入っており、その増加幅は減衰している。 【修正後】■案P7の6行目 都市的な土地利用のうち、宅地面積の増加は、人口・世帯数の増加が続いていたことによるものであるが、本県の総人口は令和3年から減少局面に入っており、宅地面積の増加幅も小さくなっている。	
2	杉田委員	5 利用区分に応じた 基本的な方向性 (2)森林	13	17	温暖化防止や生物多様性の保全とあるが、温暖化はもう防止という段階ではないため、防止ではなく、抑制なのではないか。 (評価報告書でも、温暖化は疑う余地がないと言われている)		
3		9 五地域区分の土地 利用の原則及び調整 方針 (2)土地利用の原則 ③森林地域	36		県としては推進ということだが、再生エネルギーは小水力や太陽光、風力など色々ある。特に、森林を切るということについて、C02の吸収源を切ってしまっていいのかというのが指摘されたところだと思う。であれば、例えば、36ページの森林地域の中で、C02吸収減としての森林は、極力守っていくとか、あるいは吸収源を減らさないという何らかのニュアンスを入れておいた方がいいと思った。全体を読むと、例えば沿岸域はブルーカーボンでC02吸収源を守りましょうというところを、森林では、C02吸収源を守る記述が弱く整合性が取れないのが気になったので、検討いただきたい。	【追記前】 (記載なし) 【追記後】■案P17の24~26行目 また、カーボンニュートラルの実現に向け、森林のCO2吸収量を向上させるため、適切な間伐や主伐後の再造林により 森林整備を進めていく。	

No.	相手方	審議会資料2(修正前の素案)の該当箇所			意見・感想等	県の考え方(案)
No.		章	頁	行		
4		6 利用区分に応じた 規模の目標 【利用区分に応じた 規模の目標の考え 方】	18	9 10	合はまだ間伐ということかもしれないが、ここに "間伐等の適切な保育により"という記述を入れる必要があるのか、再検討した方がいいのではないか。	【修正前】 森林は、多面的な機能の発揮に重要な役割を果たすため、間伐等の適切な保育により、森林の整備・保全を進める。 【修正後】■案P22の10行目 森林は、多面的な機能の発揮に重要な役割を果たすため、森林資源の循環利用と森林の整備・保全に努める。
5	志賀委員	_			カルチャー、スポーツなどを通じた特徴的な接点と浦安や幕張、柏などのイメージが強い気がする。前半部分の6ページぐらいまでのところで、そういった産業・自然環境視点だけではない、千葉県の首都圏における特徴がもう少し前面に出てもいいのではないか。	 【修正前】